

# たろぎ議会だより

No.137

令和8年2月5日

熊本県多良木町議会発行



12月定例会議

特集 新成人・・・P2～3

新年のごあいさつ・・・P4

一般質問 4人が問う・・・P5～8

国籍・文化をこえて

(二十歳のつどい 新成人85人中70人が参加)

# 二十歳の誓い

～多くの人に支えられながら～



新春の気配を身にまとい、今日、成人の日を迎えますこと、身の引き締まる思いがいたします。本日は私たちのために、このような盛大な式典を開催していただき、誠にありがとうございます。

また、石井町長をはじめ、ご来賓の方々にはご多用のところご臨席を賜りますと共に、皆さまからご祝辞や激励の言葉をいただき、新成人一同を代表しまして心よりお礼申し上げます。

この20年間、私は多くの人に支えられながら成長することができました。時にはぶつかりながらも共に歩んできた友人、我が子のご指導くださった先生方、幼い頃から温かく見守ってくださった地域の方々、たくさんの愛情をそそぎ育ててくれた家族には心から感謝しています。

(中略)

私は消防士という職業柄、命の大切さを身をもって感じています。日頃の業務の中で感謝の言葉をいただけることが多々あります。

感謝の言葉は親密な関係にあるほど恥ずかしくて中々口に出せません。しかし感謝は心臓のようなものです。心臓は脳や肺、体全体に血液を循環させます。感謝は心臓と同じように重要な役割を果たしてくれます。感謝がなければ人と人との繋がり生まれません。感謝は心臓と同じで生きていくうえで必要です。

大切な人がいついなくなるか誰にもわかりません。後悔しないためにも感謝を伝えることを忘れないでいただきたいです。

(中略)

自分自身まだまだ経験が足りない未熟者ですが、今まで支えてくださった多くの方々に感謝の気持ちを忘れず、大人としての自覚と責任を果たし社会に貢献できるよう努力していきたいと思っています。

最後に、成人式の開催に向けまして、ご尽力いただきました関係者の皆様にお礼を申し上げ意見発表とさせていただきます。

令和8年1月4日

新成人代表 松岡 滉大

# 新成人に 聞きたいこと・知りたいこと

「二十歳のつどい」でインタビュー

## 質問事項

- ① 本町の魅力は何かありますか？
- ② 選挙に行ったことはありますか？
- ③ 議員報酬がいくらならなってみようと思いますか？
- ④ あなたが町長だったら何をしますか？
- ⑤ 今後議会に期待することは何かありますか？
- ⑥ 将来的な目標は？



二十歳のつどい実行委員会



たけした りん 竹下 凜さん

- ① 豊かな自然と暖かい気持ちで見守って下さる地域の方々
- ② ある
- ③ 月30万円
- ④ 企業誘致に力をいれたい
- ⑤ 若者や子育て世代への支援
- ⑥ 学び続ける事と周囲への感謝を忘れない立派な大人になりたい



ほしはら もえか 星原 萌花さん

- ① 自然が豊かで住みやすい
- ② ある
- ③ 月30万円
- ④ 高齢者が住みやすい環境をつくっていききたい
- ⑤ わからない
- ⑥ 看護師になる夢を叶え、多くの方の支えになりたい

- ① 文化財、地域の方々との親しみやすさ
- ② ある
- ③ 月30万円以上
- ④ 地域の方と接する機会をたくさん作り、町民に寄り添った町づくりをしたい
- ⑤ 地域の方の意見を反映して居心地のいい環境を作ってほしい
- ⑥ ものづくりを通して、たくさんの方に笑顔届けたい



しんぼり 新堀 こはるさん

- ① 自然にあふれているところ
- ② ある
- ③ 月30万円
- ④ 若者が地元に残りたいと思う施策
- ⑤ 特になし
- ⑥ お金持ちになる



あおき なお 青木 南朋さん



まつおか こうだい 松岡 滉大さん

- ① 町が綺麗で、地域の方々が温かい
- ② ある
- ③ 年1,000万円前後
- ④ 働き方改革
- ⑤ SNSを活用した広報活動
- ⑥ みんなを守る人



かしま りゅうしん 嘉島 龍心さん

- ① 歴史ある文化財・建築
- ② ある
- ③ 月50万円
- ④ 若い世代の定住支援
- ⑤ 上記と同じく
- ⑥ 楽しく生きたい

あけましておめでとうございます



議長 宇佐 信行

明けましておめでとうございます。町民の皆さまには、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より町議会活動に対しまして、温かいご支援・ご協力をいただき心より感謝とお礼を申し上げます。

昨年は、不安定な世界情勢に伴う物価高や国内における少子高齢化、特に地方での担い手不足等がより顕著になってきており、私たちを取り巻く環境は、益々厳しいものとなっております。

このようななか、昨年、日本史上初の女性首相が誕生しました。物価高や安全保障等様々な課題に対して、スピード感

と細やかな目線で対応し、国民が安心して暮らしていけるよう、しっかりと国の舵取りをしていただきたいと思います。地域におきましては、まだ災害復興の半ばですが、今年、くま川鉄道全線再開という明るい話題もあり、駅界限にも利用者の笑顔が戻ってくることを期待しております。

また、町議会としましては、近隣市町村と連携を図り、それぞれの強みを活かし、人吉球磨一体となって活気が戻ってくるような施策の提言や町民の皆さまのご意見を聞き、知恵を絞りながら議会運営・活動に取り組んでいく所存です。本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びとなりますが、町民の皆さまのご健勝とご多幸を心から祈念申し上げて、新年のご挨拶いたします。

ご挨拶いたします。



豊永 好人 久保田 武治 猪原 清 前田 文

町民の幸福を切に願ひ全力投球！

今年も平和・くらし・福祉を守るために声をあげます

“人間万事塞翁が馬”の精神で、前向きに進んでいきます

働いて、休んで、働いて、休んで、健康に留意します

2026 本年もよろしくお願ひします



林田 俊策 落合 健治 源嶋 たまみ 魚住 憲一

老いたる馬は道を忘れず。高齢化社会！老若男女協働で町づくり

型に捉われない発想で、新しい事に挑戦する1年を！

あせらず、ゆっくり一歩ずつ、確実に着実に

『千軍万馬(せんぐんばんば)』

Q 人口減少対策は

A 情報共有と意見交換を

吉村教育長

現状のまま進むとR11年度久米小学校入学児童数は3人、黒肥地小学校入学児童数は4人になる。この状況については町役場内でも今後の在り方に関する情報交換会として、小学校入学児童数や教職員数の推移・予算面・校舎老朽化や改修の状況・スクールバスの準備についての情報交換を行っている。そしてこの12月には総合教育会議を開催し町教育の取り組み状況や教育課題等について説明を行う予定である。その内容を町広報で紹介して今後の学校の在り方について町民と一緒に考えていただくきっかけを作りたい。

石井町長

小学校は150年以上の歴史がある。歴史と伝統、地域の思いもしっかり踏まえることが重要。児童数の推移等の情報を町民と共有して

今後の学校の在り方を一緒に考えるきっかけづくりを進めていきたい。

人口減少により町自体の体力がなくなっていく。町のイベント等も今後は「身の丈に合わせた」見直しが必要になってくるのでは。

黒木生涯学習課長

各支部の体育大会については、少子高齢化の進行、生活スタイルの変化等の状況を踏まえ、今後は住民の具体的な意見・要望を把握するため各支部を対象とした調査を実施する。その内容を分析して従来の形にとられず多様なスポーツイベントへの移行も視野に入れ検討する。

浅川企画観光課長

企画観光課が所管する音楽祭や球磨拳世界大会、スカイフェスタ等は関係団体や実行委員会が意欲的にやっている。今後について

はそれらの意見を尊重していきたい。

魚住産業振興課長

農工商祭については、地域の魅力を外に発信し世代を超えた交流を生み出す大切な機会だと考えている。今後は農工商連絡協議会で情報共有を図り、規模や内容の在り方も含めて議論していく。



町イベントの一つ『農工商祭』

石井町長

人口規模に応じた見直しを行い、町財政や職員体制を圧迫しない持続可能な形を模索していくことが重要である。今回の指摘については地域団体や実行委員会に伝え、多くの皆様の意見を尊重しながら持続可能な運営の在り方をともに探っていく。

質問

行政区割りの見直しは、町主導での議論を。

東総務課長

行政区間問題解消のためには、地域における自主的合意形成とそれを引く張る強力な代表者の存在が不可欠と考える。そこで一つの提案として各行政区の総会の場において議題等にあわせていただき地域住民の反応と意見を最優先にしたい。

質問

奥球磨連携のため、リーダレベルでの話し合いを。

石井町長

奥球磨では公立病院、消防組合、そして奥球磨男女駅伝など4町村での取り組み実績がある。そこでこの地域で行政効率化や財政・人材不足を補完できるものを見つけたりしながら連携していきたい。



猪原 清 議員

質問 昨年の出生者数が30人余り、数年後は町の小学生数も1クラス分にも満たない。早期に小学校統合等の議論を始めるべきでは。



久保田 武治 議員

Q 町民への支援策を

A 必要な支援が届くよう検討

浅川企画観光課長 この制度が町民生活の下支えにつながるよう、国が示す制度内容を確認しながら最も効果的な支援方法を含めて検討中で、交付金額等が確定しだい実施可能な支援策を整理し支援が確実に届くよう検討を進める。

質問 一人暮らしや子どものない低所得世帯や年金暮らし世帯を対象にした支援策を優先・検討すべきではないか。

石井町長 今回の特別加算は全国一律の事業ではなく、対象者支給方法、支給額について自治体が地域の実情に応じて設定できるという特徴がある。費用対効果や事務負担などを踏まえながら検討する。

Q 新ごみ処理施設予定地は

A 全理事で協議

質問 次期ごみ処理施設予定地をあさぎり町の免田ごみし尿処理場跡地としているが、白紙撤回や反対の声が上がっている。理事の立場として、どのように受け止めているのか。

Q 農地の保全管理は

A 遊休農地は増加傾向

質問 農地パトロールも行われているが、中山間地では後継者不足や高齢化に伴う遊休農地や耕作放棄地が増えている。現状と課題は。大森農業委員会事務局長 年2回の農地パトロールの指導後も改善が見られない農地を遊休農地として国

石井町長 地元説明会での質問や意見で人吉球磨地域にとって欠かすことのできない施設であるという共通認識は理解することができた。今後、理解が得られるよう丁寧な説明に加えて最新のごみ処



農地保全に向けパトロール

理施設の見学会等が必要だと考えた。質問 地元住民が反対しても建設を推進する立場か。石井町長 代表理事が今回の説明会でだされた意見を全理事に報告し、協議するという趣旨の発言をしているので、私からの発言を控える。

①農地バンクの活用。②地域計画に基づいた農地利用。

《その他の質問》 ①人事計画と運用について

Q 財団の「可視化・見える化」は

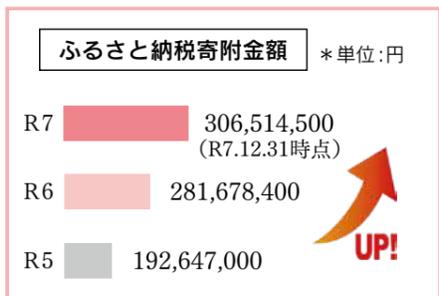
A 広報紙・SNS等で紹介

質問 財団設立5年となるが、認知度が低い。今後、活動内容を理解してもらうべき「可視化・見える化」をどうするのか。浅川企画観光課長 財団は行政で十分対応しきれない「地域経済活性化・人材育成・交流人口増加」などに対応すべく設立された。役場職員2名が出向し、役場との連携と調整を担っている。主な活動である「ふるさと納税」が増えれば、その分町に還元でき、返礼品を取り扱っていることなど広報紙やSNSで活動内容を紹介していく。

石井町長 R6年度2億8千万円のふるさと納税をいただいているが、わかりやすく工夫をし、広報やできたら新聞社にもとりあげていただきたいと考えている。

Table with 2 columns: 上水道未整備地区, 件数. Rows include 多良木 11区 of 2, 久米 10, 11, 12区, and 多良木 2区 of 2 (part).

その他（個人井戸、隣接する町の上水道を利用） 多良木1区 of 2, 10区 of 2, 久米9区の一部が 湯前町・あさぎり町と上水道を利用。



《その他の質問》 ①交通・物流のインフラ整備の現状と未来は



落合 健治 議員

Q 水道料助成の対象外世帯は

A 対応策は考える

質問 生活困窮支援の一つとして、半額助成はありがたいが、対象外の世帯もある。どれくらいあるのか。林田建設課長 水道契約に基づき町内外で計3,355件が減免対象となっている。対象外は上水道未整備地区の松ヶ野・槻木地区の62件、井戸が41ヶ所、施設入所者、会社等である。

質問 上水道未整備地区や簡易水道の維持も、高齢化などで大変になってきている。「山の水は0円」という時代ではない、対象外の世帯にも助成できないか。浅川企画観光課長

金銭的な助成は難しいが、重要な課題だと考える。公平性にも配慮しながら適切な支援の在り方を考えていく。

とよなが  
よしと  
豊永 好人 議員



浅川企画観光課長

町民生活の支えにしっかりとつながるよう最も効果的に支援を届けられるのか支援方法も含め検討をしていく。

石井町長

国からの交付金額等が示され次策検討を行い町民生

活の安定に資する効果的な支援策を構築していく。



物価高騰に支援を

交通安全対策は

関係機関と連携

質問

通学路の道路や交差点・各小学校付近の道路・横断歩道など、劣化により道路の白線が見えなくなっているが、今後の対策は。

黒木生涯学習課長

教育委員会の通学路の安全対策に関する取り組みについては、通学路安全推進会議において、各校からの危険箇所の報告により、対策について協議を行っている。関係機関が一堂に会して危険箇所を情報共有・協議を行い、対策への早期協力をお願いしている。

吉村教育長

教育委員会としては通学路安全推進会議の際に警察署・建設課等の関係機関に積極的に横断歩道のカラー



見えづらい横断歩道

《その他の質問》  
①災害対策は  
②施政方針は

Q 物価高対策は

A 効果的な支援策を

質問

未来を担う農業支援事業「町の単独機械補助」が本年度で終了する。R8年度はこの事業をどうするのか。魚住産業振興課長

本年度に事業が3年の区切りを迎えることから、これまでの実績や頂いた意見などから農業者への支援は重要であると考えており、持続可能な支援策を講じる。



農業機械に補助を

石井町長

地域全体で農業を支える仕組みづくりを進めていく。今後は現行施策の見直しも含めて前向きに検討していく。

## 球磨郡公立多良木病院企業団議会報告

定例会議が、12月4日に開催された。

「令和7年度球磨郡公立多良木病院企業団 病院事業、介護老人保健施設事業及び総合健診センター事業会計の補正予算」と「令和7年度球磨郡公立病院企業団 上球磨地域包括支援センター特別会計補正予算」は、人事院勧告に伴う給与改定等での増額補正などが上程され、原案どおり全会一致で可決した。

一般質問

久保田 議員(多良木町) 「※)ペイシエントハラスメント調査結果」「災害医療」について  
小松 議員(あさぎり町) 「病院経営状況と今後の経営方針、職員就業環境の維持について」

(※)ペイシエントハラスメントとは…患者や家族等からの医療従事者に対するハラスメント)

## 上球磨消防組合議会定例会報告

定例議会が、11月22日に開催された。

R6年度一般会計決算については、歳入総額10億7,034万7千円 歳出総額10億4,453万5千円とし、全会一致で原案のとおり認定した。R7年度一般会計補正予算では、ポンプ1号車の不具合のための修理が主なもので、これも全会一致で可決した。

住民に関係の深いものとしては、全国で起きている様々な大規模火災や林野火災を未然に予見できるように、火災予防条例が一部改正され、※「たき火」ほどの火を扱う際も、消防長に届け出るように明記された。

※たき火とは・・・「火を使用する設備器具を用いなくて、又はこれらの設備器具による場合でもその本来の使用方法によらないで、火をたく形態一般」

一般質問では岩本・落合議員の2名が「隊員のスキルアップ」「女性隊員の増員と広報活動」「人吉下球磨消防組合との統合協議の進捗状況」などについての質問を行った。

## 広域行政組合議会報告

第4回定例会が開催され、R6年度一般会計歳入歳出決算は全会一致で認定した。議案第12号はゴミ処理手数料「100円」を「150円」へ改定するため条例の一部改正、議案第13号は葬祭場の火葬料金を改定するための条例の一部改正、議案第14号は一般会計補正予算・債務負担行為の補正について全議案原案どおり可決した。

(単位:円)

火葬料金	単位	区域別	人吉	免田	水上	改正後
大人 (満15歳以上)	体	使用区域	10,000	12,000	12,000	15,000
		使用区域外	25,000	25,000	16,000	45,000
小人 (満15歳未満)	体	使用区域	8,000	10,000	10,000	10,000
		使用区域外	16,000	16,000	14,000	30,000

なお、料金改正はR8年4月1日より施行される。

## 条例改正等は

### 12月定例会議において7つの条例等議案が上程され、 全議案原案のとおり可決した

主なものとして、

- ①町職員・会計年度任用職員の手当等や議員報酬の額の改正はR7年国の人事院勧告が実施されたことに伴い、手当等を引き上げる改正と町が「特別職報酬等審議会」へ諮問していた議員報酬を引き上げる必要との答申を受け議会活性化を期待し改正の提案があった。
- ②町民体育館等の指定管理者を町の総合型地域スポーツクラブ「あいあいスポーツクラブたらぎ」と決定した。
- ③新しく建設中の「口の坪住宅」の管理条例の制定については「定住促進」を目的に4戸の家賃を基本7万円とし入居条件等を定め、今回初めて「連帯保証人」の代わりに民間保証会社と「家賃債務保証契約」を交わしていただくこととした。この契約は、入居者と民間保証会社が契約を取り交わし、入居者が家賃を滞納した場合、民間保証会社が家賃滞納分を代理で納め、民間保証会社が入居者へ代理で納めた家賃を請求する契約となっており、球磨郡で初めてとなっている。



定住促進口の坪住宅

## 一般・特別会計等の補正は

### 一般会計予算を1億2,460万9千円追加し 総額83億4,787万4千円とした



原料米補助へ

主な補正は農林商工業を新規で始め2年継続した事業者3人への祝い金150万円や「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業」での町内焼酎蔵元7社に対して、上限100万円を「焼酎原料米の購入助成」として補助する予算、また特別職報酬等審議会

会答申に基づき議員報酬を改定補正した。(※豆ちしき P16)

堆肥センター設備はホイールローダ・トラクター修繕や学校給食の食材費高騰に対する対応のため増額を行った。

特別会計補正予算は国民健康保険特別会計・介護保険・上水道会計・下水道事業会計の会計年度任用職員の報酬改定に伴う予算や決算見込み等に対する補正である。

## 町民一人当たり1万円!!!

1月会議

「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」で「食料品等物価高騰対策緊急生活支援金」として町民一人当たり1万円を支給することとした。

また児童支援費としては「物価高対応子育て応援手当交付金」を高校生以下の子どもを持つ世帯に、子ども一人当たり2万円を給付する事業等の予算1億550万円の追加補正し一般会計総額84億5,338万3千円の予算を可決した。

## 中学生と給食を

議会活性化特別委員会

議会活性化特別委員会は多良木中学校を訪問して「中学校教育の現状視察」と「中学校新旧生徒会役員との交流」を行った。

まず岩坂教頭のご案内のもと全クラスの授業参観を行った。授業内容は生徒「自らが考える」ことに重きをおいた授業の在り方だと感じ「昭和の教育」のやり方とは違ったものを感じた。

その真剣な眼差しと肅々となされた授業は将来に向けて「自らの人生」の生き方に良い影響があるとも感じた。今回参観を通じ生徒たちと教師の真剣な取り組みの様子をみるこ



校舎視察

とができた。

学校給食は準備段階からその衛生面での管理や給食当番の体調管理まで行き届いた指導が行われていた。その後給食を新旧生徒会役員とともに食することによりその量や質を議員自ら体験した。

成長盛り子どもたちに対しカロリー計算された栄養ではあるかと思うが、多くの議員は量的に足りるのであろうかとの疑問も残った。



授業参観

5つのテーブルに分かれた会食ではそれぞれのテーブルで給食のことはもとより色々な話に生徒と議員の話の花が咲いていたようであった。

この取り組みは議会として続けていきたいとの想いもあり、今後毎年の行事と位置づけ各小中学校をも訪問していきたいと思った。

文責 林田



会食での談笑

# 『要望』どうなった!?



## 12月定例会議にて3件の要望書採択

### 第2号 久米5区野添地区の町道・里道の拡幅改良工事及び防災トイレの設置について

地域住民の道路に対する不安解消と、生活環境の整備、緊急車両通行の環境整備、また、一部の土地を無償提供する承諾書が提出されていて、地域住民の協力体制ができてきていると思われる。なお、防災トイレの要望は、今後更なる設置個所の検討は必要と思われる。



狭い町道

### 第3号 多良木町民体育館前交差点道路改良について

町民体育館前は交通量が多く、近隣には中学校と支援学校があり、警察署が移転する計画もある。また、木材運搬車の通行も多く、今後、混雑が予想される。今回の要望書は過去にも提出され採択されている。地域住民の道路に対する不安解消と生活環境整備、通学路としての安全確保、産業道路としての整備が必要。今後、国道219号は国・県管理のため、町として早急な協議を求める。



混雑する交差点

### 第4号 町道向原一大豊町線道路改良について

要望箇所は、現地調査した結果大きなS字カーブを描きながら下がっており、町道門田牛島線と十字交差する状況である。今回の要望書は過去にも提出され採択されているが、前回の要望の際は、「一部改良が計画どおりできない箇所もあったようである。」と記載されている。

それを踏まえ、今回の要望書には、要望書付近の方々の署名捺印もあり、地域住民の協力体制もできていることから、道路に対する不安解消と生活環境整備、通学路としての安全確保が必要だと判断した。



見通しの悪い十字路

## ブランド力と復興を東北に学ぶ

総務産業常任委員会政務活動報告

**板柳町** リンゴの里として全国的にも有名。りんごに特化してブランド化をする珍しい町。キャラクター・リンゴ製品の数・施設・祭り、行政の補助金もりんごに集中している。「りんごに関係ない方々から、苦情は出ないのか」と質問したら、「りんごに関係をもたない町民はいない」との事。板柳町のまねをしておのブランド化は、難しいと考えるが、何か一つに特化してブランド化するのは、イメージ戦略としては理にかなっている。説明してくれた職員の目力も群を抜いていて、学ぶべき点は多々あった。



リンゴで街を彩る人たち

**藤崎町** りんごに力を注ぐ町、移住定住へも力を入れる。「スーパーバイザー」といわれる人材が補助金に頼らず、地域のグループに目を向けて、結果に左右されずイベントを立ち上げ、お金をかけない町おこしをおこなっていた。いいところだけを見つめ、町のストロングポイントを洗い出し、ポジティブシンキングで、町に貢献するという考え方も必要なことではと思われた。

**女川観光協会** 最も東日本大震災の被害を受けた地域の観光協会。見るに堪えない場面を含む壮絶な震災の声や爪痕があちこちにあり、どうやって観光につなげられたのか?と思った。感心と尊敬をもったのが、話し合う姿勢である。大震災復興の冒頭の話し合いで、「この町の未来を若者に託そう!この先の計画に今60歳以上の人間はいっさい口を出すな!」と、みんなの目の色が変わったようだ。未来を見据えこのセリフが言える人がどれほどいるだろう。女川町は計画的に、避難や防災に特化していることはもちろん、観光地としても駅から一直線に海の夕日までのびる風景と町の一角には東日本大震災の遺構として波で倒れた交番が交わるそこにしかない環境を創っていた。先人の想いとこれからの若い人が東日本大震災の話をする理想的な空間がそこにあった。



語り部の熱の入った説明

**仙台メモリアル交流館** 駅構内に新設された東日本大震災写真展示場。実際に震災を経験した女性が語り部として、生々しい体験談を語っていた。使命感をもち写真をながめる人に説明をして、聞いた人の表情が変わっていく、初老の女性のかっこいい姿に、実際に見る・聞くことの大事さを学んだ。

文責 落合

## 地域連携による「生き残り」のための模索 長野県

厚生文教常任委員会政務活動報告

今回の政務活動は、「子育て支援」と「移住定住」にスポットを当て、長野県のほぼ中央部に位置する長野県上伊那郡南箕輪村及び長野県諏訪郡原村を訪ねた。

### 「村だけど、村じゃない」長野県上伊那郡南箕輪村

この村の子育て、移住定住施策を村・議会担当者たちからリサーチするために通された会議室でまず私たちに驚かせたものは、議会議長・副議長をはじめ対応した担当の幹部職員（課長）がすべて女性であるということであった。（唯一、議会事務局長のみが男性）

そのことはさておき、この村は人口16,118人（2025.12.31現在）と長野県では最も人口の多い村である。人口が多いことすなわち移住定住施策が奏功していることではあるのだが、実はこの町の売りは「すべてがコンパクトで暮らしやすい→車で10分以内でどこへでも行くことができる村」なのだ。

具体的には、学校・病院・スーパー・コンビニ・ホームセンター・自然等々、車で10分以内で行くことができる。もちろん近隣伊那市も含めて。（でも、それなら我が多良木町も同じではないか！）



### 「日本で最も美しい村」長野県諏訪郡原村

人口7,717人（2024.10.31現在）のこの村はペンション村を有する自然豊かな山間の村である。

情報収集・意見交換を通じてプレゼンしていただいた担当課の係長がまた意欲的に周辺自治体（諏訪市・茅野市）との連携を強力に推し進め、町だけではできない交通・医療・子育て・移住定住施策を次々に打ちだして、地域に埋もれない重要な一員としての村の存在感を作り出しているのだ。（頼もしい！）

二つの村を取材して我々が得たものは、我々の地域がこぞって打ち出している子育て世代への手厚く潤沢ともいえる財政的支援ではなく、「そこまではしませんが、地域で連携していけば若者も子育て世代にも暮らしやすく満足な生活がここにはあります」のスタンスであった。

我々も今暮らしている地域で自分たちが持つ魅力を十分に引き出しつつ地域全体で手を取り合って身の丈に合った住民支援と言うことを考えていかなければ地方の将来は見えてこないことを実感した。



文責 猪原

## 第2回「多良木中学校 スポGOMI」競技大会参加

R7年11月29日（土）

われわれ厚生文教常任委員会4名はこの大会に『チーム GIKAI』として初参戦した。寒さが身に染みる午前8時50分に町民広場に多良木中学校3年生とともに集合し、開会の後、競技場の注意事項を遵守しつつ約2時間の競技に挑んだ。

われわれチームは町民広場から町道、国道と進み、えびす広場までを4人でくまなく探索、かなりの量の可燃・不燃ごみを収集してゴールした。計量結果は惜しくも上位3位には入らなかったが、大健闘であったと教職員・生徒たちから賞賛を得ることができた。

次回はぜひ優勝を目指して日ごろから精進することを誓って散会した。



ここにもあるよ

文責 猪原

## 国史跡「多良木相良氏遺跡」現地踏査

R7年12月10日（水）

永仁3年(1295年)に相良頼宗が初代頼景の廟を建て、阿弥陀三尊を祀ったことを契機に永仁6年に創建されたのが青蓮寺である。青蓮寺境内には、阿弥陀堂北側斜面に古塔碑群が所在し、南向き傾斜面段造成部分に古塔碑群、その中心に壇上積基壇が設置されている。戦国期・江戸期の相良氏当主五輪塔が青蓮寺境内に造営され続けたのは、多良木相良氏滅亡後においても地域における相良氏支配の正当性を示す場所であり続けたからである。

委員会は青蓮寺境内現地踏査後、黒の蔵歴史資料館を訪れて昭和11年開墾中に発見された「青銅製経筒」などの貴重な出土品現物を見た後、多良木相良氏に関連する川湊施設である「蓮花寺東之前遺跡」を現地に確認した。

鎌倉時代に西遷した鎮西相良氏の惣領家の盛衰を映した国史跡に委員会一同、その価値を改めて目の当たりにすることになった。



熱心に耳を傾ける

文責 猪原



阿弥陀堂北側斜面の古塔碑群



# 豆ちしき

## 議員の報酬が上がったとね？



多良子

今度の議会で議員の報酬上がったんね？

じゃとたい、町は「特別職報酬等審議会」の答申を受けて平成15年から議員自ら報酬下げたあつたつと、22年ぶりに元の金額に戻すつと議題に上げやつたつたい 😊



球磨雄



多良子

へーそぎゃんじやつたつたいねー 😊

議会はこいまで、いろいろ議会改革ばしてきて議員定数も平成15年から8人も減らかしてきたし、全国の議長会からも、こいからの「議員のなりて不足」にそなえて若かか人が選挙に出やすーせんばんごと、また「なれない要因」「ならない要因」ばひとつひとつ解決せんばんて、こいまで協議ばしてきやつたつとばい 😊



球磨雄



多良子

そいで、どしこ上がったんね？

議員が2万1千円、副議長が2万3千円、議長が2万7千円上げて、それぞれ25万3千円・27万8千円・33万7千円になつたつたい。こんごろ水上村も上げやつたし、こいまで以上の議会活性化ば期待して上げやつたつとたい 😊



球磨雄



多良子

ほんとねー！今頃何でんかんでん上がつてしもうて議員も「町ばようすつため」にそしこ頑張つてもらわんばんね 😊

文責 林田

### 想 くおもい

一年でもっとも寒さを感じる季節になりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。今回も町の様子や議会の動きを少しでも身近に感じていただけるよう心を込めて編集しました。

広報誌が、町の動きを知る小さなきっかけになれば嬉しく思います。

そして、紙面だけでは伝わらない議会の空気は、ぜひ一般質問の傍聴で感じてみてください。皆さまに一步近づく広報を、これからも続けてまいります。

(文責 前田 文)



#### 広報特別委員会構成

- ◎前田 文 豊永 好人
- 猪原 清 林田 俊策
- 源嶋たまみ 落合 健治